

袁總統及夫人
今の袁世凱總統は、清國の皇帝に代りて、清國の元首として、清國の臣民に對して、清國の元首としての責任を負つて居る。袁總統は、清國の元首として、清國の臣民に對して、清國の元首としての責任を負つて居る。袁總統は、清國の元首として、清國の臣民に對して、清國の元首としての責任を負つて居る。



洋酒物語

世界の酒道樂
洋酒の趣味が普及
一種のエクセル等
御便利かと思はれ

春場所大相撲懸賞

- 一等一人 無又銀懷中時計
- 二等一人 上等絹織物一反宛
- 三等一人 上等絹織物一箇宛
- 四等一人 上等絹織物一箇宛
- 五等一人 上等絹織物一箇宛

學校へ

入學の出来る兒童
此の春から
出た方がよい

満街の雪

直ぐ晴れよう
十二日の夜半一時頃から降り出し

手帳は極簡単です

手帳は極簡単です
手帳は極簡単です

小兒の病氣

小兒の病氣
手當法いろいろ

鼻腔カタル

鼻腔カタル
鼻腔カタル

喉頭加兒

喉頭加兒
喉頭加兒

氣管支肺炎

氣管支肺炎
氣管支肺炎

肺病

肺病
肺病

其手當

其手當
其手當

拾週年記念品附特賣
進呈品
家庭用
美顔術器
伏見宮殿下御嘉納
輕便印刷器
保證付オスラム萬年筆
美術掛時計
小形置時計
安全かみそり
振動あんま器
各地に特約店を募集す

第十九席 早川貞水口演

[illegible]

一月十五日九星

兼ねたる飲みよく保効ある風邪
 血の道の良薬守妙を指し
 他に藥を求むるは
 そは餘に愚なり
 輕微なる引風を等閑に附するが爲
 遂に不治の大患に陥るは
 余其儼然しとせむ、我が妙振り出
 は即ち此の四季の引風及
 たんせきに最も妙にして

せか
 守
 妙

[illegible]

ト機更シタリ
右大正五年壹月拾壹日登記

京城地方法院

◎代理的眼鏡
本品は在來のアルミ金及び鍍金の如く忽ち變色する虞なく四重の合金を主

電話 浪花西四六三振替口座三〇七四一
 支店
 東京日本橋區
 三丁目
 芳美堂支店
 電話 浪花西四六三振替口座三〇七四一

試用一貼金五錢 二貼金拾錢
德用包 六十三貼入 金止九錢
六十貼入 金壹拾錢
三十八貼入 金貳圓
東京上野池之端仲町二十七號
寶丹舖 振替東京二九八五
寶丹舖 守田治兵衛
(全國有名藥店にて販賣す)

意注
 竊都巡視願として妙提出しの右に出る者
 しを古手を通じて今都信川都々高き所以
 近赤行ける方應高都なる風都々さし
 して候の怒るべき御作用中様を起す危険
 有りのに反し提出し候はるは勿能温治
 て御前危険更になり是れ就提出しの一夫

振出し即ち守妙と必ずし

東京圖書

マスト石鹼發賣元
東京 野村外吉商店
大阪

優良石鹼 ゆうれうせつげん

仲買人
行 栗 秀 吉

大正四年 自壹月間
當取引所 若貴嚴賣買
高多額リシ 業務ニ勵精シ
信用特厚キヲ 知ニ足ル依テ
紀念ニ爲メ茲ニ 銀杯一但ヲ
贈與シ以テ其成績ヲ表彰ス

大正五年一月四日


株式 仁川米豆取引所
會社 仁川米豆取引所
取締役社長 飯田宗登 謹啟

一等賞受領

弊店儀今回大正四年中の營業最優良の成績を挙げ仁川米豆取引所より

第一等賞及び褒狀を受領するを得たるは全く顧客各位の深甚なる御引立に依るものと弊店の光榮感謝の辭無之候向後益々業務に勵精し御眷顧の萬一に酬ひ度存候間一層の御懇命偏に奉願上候 敬白

仁川米豆取引所仲買人

 行實秀吉

仁川海岸町三番
電話長九二二番
振替口座京城三二五六番

成功の手は健腦の人に下る！！

一刻の猶豫もあるべからず！！

腦神經衰弱患者

諸君！！今直に

健腦丸 服用あれ

主 効
 腦充血 腦膜炎 神經痛 逆上症 卒中 中風 癱瘓 健忘 遺精 痛鳴
 腦病 健腦丸 良藥

特長

本藥を少量宛常用せば通上を引下し便通を快し患る可中風卒中を未發に防ぎ脳力の増進を促す特効あり

本舖 大坂 丹平商會藥房

全國到る處の藥店に取次す

榮五郎分賣則總三瓶分一圓廿五錢圓二週分價八十五錢圓一週分四十五錢圓三日分廿錢

疾に苦しむ人の多いのに醫術が進んた今日でもキル
 自に射を唯一の療法として眞の妙薬を見い出せない
 此病を患へて十年以上を苦しんで先づ故郷に傳
 興へて醫術を乞ふに難しとて其の先づ故郷に傳
 持効薬を施す事には人助に施薬す。持効薬と名づけ七日で思ふ
 貧困者には人助に施薬す。持効薬と名づけ七日で思ふ
 貧困者には人助に施薬す。持効薬と名づけ七日で思ふ

廣く希望者に頒與す貧困者には人助に施薬す。持効薬と名づけ七日で思ふ

日三 日振替 二二〇五四 電話 三六八四 圓珠盤發賣 元大 一商店

贊化病院

目丁二町本東京
 番四二話電

入院隨意 普通病室並隔離病室
 院長 醫學博士 古城憲治
 尿。便。血液。咯痰等臨床的検査の依頼に應ず（毎日五名を限り無料施療す）

東京新聞

總督の訓示と吾人の覺悟

七 植林の事業

明治十四年四月二十一日、總督府より各省に訓示が出た。その要旨は、植林の事業を、國家の根本事業として、徹底して進めよ、とある。これは、國家の富強と、國民の生活の安定を、植林の事業に求めたのである。吾人は、この訓示を、深く覺悟し、植林の事業に、全力を盡すべきである。

植林の事業は、國家の根本事業である。國家の富強と、國民の生活の安定は、植林の事業に求めたのである。吾人は、この訓示を、深く覺悟し、植林の事業に、全力を盡すべきである。

放浪漫記 大谷光瑞

放浪漫記 大谷光瑞

來試人間第二の句あるもの。即ち、人生の漫遊である。吾人は、この漫遊の中で、多くのことを経験し、多くのことを学ぶのである。放浪漫記は、人生の漫遊を、文筆で表現したものである。

雲南擾亂と各將軍

雲南擾亂と各將軍

雲南省の擾亂は、各將軍の態度を、試すものである。吾人は、各將軍の態度を、よく観察し、その結果を、よく評価すべきである。

張勳

張勳

張勳は、現在の政治界の中心人物である。吾人は、張勳の行動を、よく観察し、その結果を、よく評価すべきである。

陳宦

陳宦

陳宦は、現在の政治界の中心人物である。吾人は、陳宦の行動を、よく観察し、その結果を、よく評価すべきである。

韓恢

韓恢

韓恢は、現在の政治界の中心人物である。吾人は、韓恢の行動を、よく観察し、その結果を、よく評価すべきである。

陸榮廷

陸榮廷

陸榮廷は、現在の政治界の中心人物である。吾人は、陸榮廷の行動を、よく観察し、その結果を、よく評価すべきである。

鐵道員養成講義録

第四回 開立身出世の近道は鐵道員たるにあり

鐵道員は、國家の要職である。吾人は、鐵道員になることを、強く志すべきである。

謹賀新年

新年は、希望の季節である。吾人は、新年を、よく迎えるべきである。

清水商會

清水商會は、清水の発展を、促進するものである。吾人は、清水商會を、よく支持すべきである。

東京市立通信學院

東京市立通信學院は、通信の技術を、教授するものである。吾人は、東京市立通信學院を、よく利用すべきである。

義講大二三學數

義講大二三學數は、数学の知識を、教授するものである。吾人は、義講大二三學數を、よく利用すべきである。

